

⑥ 申請書記入例

申請書は、**全3部**（文化庁・京都府・京都市分）提出願います。

史跡名勝天然記念物現状変更許可申請書	
年 月 日	
文化庁長官 殿	
申請者の住所 氏 名	
史跡名勝天然記念物の種別・名称	史跡及び名勝嵐山
指 定 年 月 日	昭和2年4月8日
史 跡 等 の 所 在 地	京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町
所有者の住所氏名	
権限に基づく占有者の住所氏名	
管理団体がある場合、その住所氏名	
管理責任者がある場合、その住所氏名	
現状変更を必要とする理由及びその内容	第〇種〇〇住居地域内において、住宅が老朽化したため、昭和〇〇年建築の既存建物（建築面積：〇〇㎡）の解体撤去及び木造2階建て専用住居（建築面積：〇〇㎡）の新築を行います。
現状変更等により生ずべき物件の滅失、き損、又は景観の変化及び史跡等への影響に関する事項	現状変更に当たっては、史跡の保存及び名勝の景観に影響を及ぼさないように配慮致します。
現状変更等の着手及び終了の予定時期	許可の翌日から〇〇日
現状変更等に係る地域の地番	京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町〇〇番地
施工者の住所氏名及び代表者、事務所所在地	〒 京都市〇〇区〇〇町〇〇番地 株式会社〇〇〇 Tel:〇〇〇-〇〇〇〇
その他参考となるべき事項	〒 京都市〇〇区〇〇町〇〇番地 株式会社〇〇〇 Tel:〇〇〇-〇〇〇〇
添付する書類、図面及び写真	1 設計図及び仕様書 2 付近見取り図を示した実測図 3 地域の写真及び撮影方向指示図 4 所有者の承諾書 5 占有者の承諾書 6 管理団体の意見書

記入内容については、係員にお尋ねください。

町名までご記入ください。

申請者と所有者が同じ場合は、「申請者と同じ」とし、多数にわたる場合は、「別紙」として、別紙にまとめて記載してください。

占有者と申請者が異なる場合には、この欄にご記入ください。

この欄の記入はこちらで指示致します。

具体的な理由と内容と当該地の用途地域を必ず記載してください。

当該地の現状変更による史跡名勝天然記念物への影響等とそのための配慮について具体的に記載してください。

当該地の地番までご記入下さい。多数にわたる場合は、「別紙」として、別紙にまとめて記載してください。

設計事務所等が書類事務を代行する場合に住所・担当者・電話番号を記載してください。

記入の必要はありません。